

静妙庵 便り

平成 30年 4月25日 発行
第 20 号
(社)立縫会 静妙庵発行
TEL 58-0800



桜 満開



金メダルの笑顔

「子供の名前がなかなか出てこない」「さっき何したかね?」「ご飯食べた?」と利用者様が職員に訴えます。それに対して職員は、ご本人が不安にならないような声掛けて、ご飯を食べたあとでも、「今作っています。できたら出しますね。」子供の名前やものの名前がでてこないと言われたときには、「私でも忘れまますよ、物忘れありますね〜。」「子供や兄弟が多いと覚えられないですね」などと少しでも不安にならないように声掛けをしています。私たちがさえ、時に自分自身でもの忘れなどで、焦燥感や不安になることがあるくらいですから尚更です。認知症は薬やケアにより進行を遅らせることはできます。私達は、日々個別のケアを行い、一日一日を金メダルをとった時のような喜びのある日が送れるようにいつも心がけています



オリンピック応援



喜びある日々を
過ごすしてほしい。



(ご家族の声)
母は昔、縫い物や編み物をよくして、色々作ってくれました。

入居されている女性の方は、自宅で家事や育児、仕事で忙しい日々を送っていました。その忙しさの中で子供の服を縫ったり、家族の為に丹精こめて料理を作られてきました。それが生きがいであり、元気の素であったのではないかと思います。昔、得意とされてきたことはちょっとした支援を行うことで今でもしっかりとできることがあります。

ご本人のできること、得意としてきたことをケアプランの中で位置づけ、行える環境作りを行い、活動していただきながら、ご本人の生きがいや喜びに結びつくよう支援しています。来客や面会に来られたご家族さまに使用していただく座布団とコースターを作ってくれました。

先日、ご利用様が100歳のお誕生日を迎えられ、日向市から長寿お祝いの訪問がありました。

100歳になられてもお元気で歩くことができます！趣味の詩吟は、今日も大きな声で力強く披露していただきました。「あんた見たことあるね！私は、ここには、最初からいるのよ！」と笑顔で話しかけてくださいます。



今でも現役！
吟じます

100歳のお誕生日
おめでとうございます！ 



運営推進会議のご案内

2ヶ月に1回、第4水曜日の14時から1時間程度、地域の方や市役所職員、協力歯科の先生、南部包括支援センターの職員を招き、当施設の活動やご利用者の生活状況を報告し、運営にあたっての相談を行い、アドバイスをいただいています。ご家族の参加も可能ですのでご連絡お待ちしております！

開催日時：平成30年4月25日(水) 14:00より 場所：グループホーム静妙庵